



大宮小だより

R4年 9月 9日 No.6

発行 阪井宏行

～自ら学び、心豊かで、しなやかに生きる子どもの育成～

2学期が始まりました！ ～学校のヒマワリが満開です！～

2学期が始まりました。夏休み前から夏休み中にかけて、何名か新型コロナウイルス感染者が出ましたが、9月に入ってからは新規の感染は見られず、落ち着いた状況です。まだまだ暑いですが、7、8月に比べるとだいぶ暑さも和らぎ、日々の学習や運動会(10/1開催)の練習に一生懸命取り組んでいます。

下の写真は、9月初めに、満開になったヒマワリです。「人とホテルの元気な里地づくりプロジェクト」の柏木さんからいただいたヒマワリの種を、用務員の北川さんが運動場の東西の門にある花壇に植えてくれました。それが6月の終わり頃でした。ヒマワリの成長を調べてみると、発芽まで1週間、発芽後60日で開花すると書いてあったので、「この通りだとすると、ちょうど2学期に始業式あたりに満開になるなあ。」と話していました。実際にその通りになりました。本で調べたことや予想したことが、実際に目の前で起こると嬉しいですね。まだしばらくは咲いていると思うので、通りかかったら目をとめてください。



※一番右の写真の「ヒマワリ(向日葵)」の隣は「ホオズキ(鬼灯)」です。

9/2 5,6年生校内キャンプを実施 ～7月から延期～

1学期終業式の午後に予定していたキャンプを、9/2、5限授業の後、6限目から行いました。川遊び(雨天:室内レク)→夕食づくり→夕食→花火→肝試し、というプログラムでした。

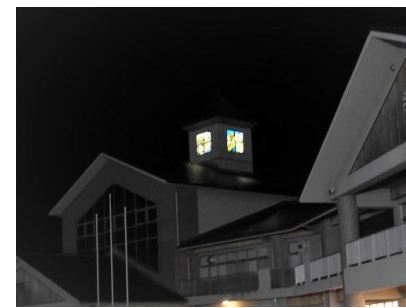
6年児童が中心となり、企画・準備・運営を自分たちで行いました。6年生は学級の取組として、「プロジェクト活動」と名付けた活動を行っています。これは、少人数でチームを作り、行事をはじめ、様々な活動の計画を自分たちで立て、準備し実行していくというものです。そのねらいは、先生に言われたままに行事や活動を行うのではなく、仲間と協力し計画を練り、自分たちの力で活動を成功させていこう、というものです。

このキャンプもこのプロジェクト活動の一つでした。キャンプのしおりを校長室に届けてくれたり、当日の夕ご飯に使うお米を校長室に回収しに来たりなど、自分たちで動いているんだな、

と感じていました。教室の後ろには、なにやら字の書いた石ころがたくさん置かれているので、これは川遊びで使うのかな、どんなゲームだろう?と考えていました。

当日は天候不良で川遊びが室内レクに変わりました。蒸し暑かったこともありましたが、5,6年生が、水につかったくらい汗だくになって体育館から帰ってくる姿を見て、すごいエネルギーを感じました。その後、班に分かれて夕食づくり、メニューはカレーライスです。5,6年の混合班に分かれて息もぴったりの夕食づくりでした。にじの広場で先生達もいっしょにカレーを食べて、片付け。少し雨に降られましたが、予定通り運動場で花火を行うことができました。最後は、このキャンプの目玉でもある肝試し。体育館スタートで、雨森先生が準備した恐怖のBGMが流れる真っ暗な校舎の中を懐中電灯片手に各班で回ります。各所には、先生達がどこで手に入れたのか、いろいろな衣装や被り物で待ち構えます。あちこちで「キャー」という叫び声が聞こえます。レクから徐々に盛り上がり、最高潮を迎えた肝試しで、幕を閉じたキャンプでした。

最初に述べた「プロジェクト活動」のねらいが、見事に達成された活動でした。5,6年生のこの取組は、次の運動会の練習に繋がり、それが下級生にも引き継がれていきます。



教育実習生来る！ ～本校の卒業生です～

9月1日～22日の3週間、三重大学教育学部3年生の奥山和花菜さんが教育実習に来ています。担当学年は6年生で、授業は5,6年生の家庭科を中心に実習を進めています。写真は、6年生の国語科の授業風景です。授業だけでなく、運動会の練習や給食、掃除などでも積極的に子ども達と関わってくれています。大変だと思いますが頑張ってください。

